

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL

<http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

第 22 回比婆山国際スカイラン開催

晴天の青空の下

新緑のブナの森を走る 712 人

比婆山連山を駆ける「比婆山国際スカイラン」が 5 月 18 日庄原市西城町のひろしま県民の森を発着点に開かれた。国内や韓国からのアスリートたちが新緑のブナ林が茂る約 1100 ㍎から 1300 ㍎の峰々を駆け抜けた。

22 回の今回は比婆山などを巡る 18.5 ㍎コースに 501 人、9 ㍎コースに 211 人が参加。山頂からの景色や森林浴を楽しみながら、ゴールを目指した。

18.5 ㍎の男子は三原市職員東徹さん(38)が 5 連覇。同女子も妻の高校教諭の東奈々さん(34)が 4 年ぶり 3 度目の優勝。



写真はスタート風景

山岳連盟同志の交流で参加した韓国大邱市連盟の李英哲副会長(59)も「美しい景色と恵まれた自然を楽しみながら走れた」と話していた。

9 キロコースの優勝者は次の皆さん。(敬称略)

男子 谷川延久(岩国市) 女子 川元直美(広島市)

招待選手

芹沢雄二(富士火災海上保険)

過去 19 回出場。優勝 3 回。

東 徹(大和走友会)

第 16・18・19・20・21 回大会と 5 回優勝。

平山健一(SALOMON)

第 14・15・17 大会で優勝。21 回準優勝。

伊藤有美子(広島疾走クラブ)

第 19・20・21 回と 3 回優勝。

野中陽子(呉市)

第 21 回女子の部 2 位。

東 奈々(大和走友会)

第 17・18 回女子の部連続優勝

協力役員 ご協力ありがとうございました

(公社) 日本山岳会広島支部・CERO クライミングクラブ・DAT・クライムハイ・タンネンクラブ・パイオニアクラブ・ひこばえ・ボランティア・マツダ親和会・可部山岳会・県庁山の会・個人会員・広大山の会・広島やまびこ会・広島三峰会・広島山岳会・広島山想会・広島山稜会・三原山の会・山を歩く会庄原・修道大学山岳会・東広島山の会・福山山岳会・福山市役所・個人会員

以上 175 人

クライミングスクールに参加して**初クライミング****個人会員 荒平 愁**

僕がなぜクライミングに興味を持ったのか、それはクライミングに使うギアがいちいちカッコ良く見えたから、という非常にミーハーなものだった。そもそも、登山自体始めたのがここ 3 年くらいの僕にとっては、岩に登ることは全く身近なものではなく、大学の頃に読んだ新田次郎の「銀嶺の人」も別の世界の話のように感じていた。

そんな僕がクライミングするとは……という思いで臨んだ第 1 回目のクライミング講習会。場所は呉市の天応山で僕はこれまで登ったことがなかった。(ちなみに、この界限は学生のときに一度徒歩で通過したことはあったが、山には見向きもしなかった) 岩場についてみると、下から見えているよりも、岩がずっと広く高かった。三倉岳や下帝釈で岩場を目にすることはあったが、こんなに大きな岩は初めて見た。岩場につくと、早速ハーネスやギアの取り付け方を習い、練習開始。ハーネスを装着し、カラビナやエイト環、ビレイ器が音を立てるのが無性に心地よかった。

まずは谷部のスロープを使って、オートブロック・クレムヘイストの練習を行った。一区間移動したら、セルフビレイして次のロープへ。一区間移動したらセルフビレイの繰り返し。地味な作業だけど普通では行けない岩場を歩けるのが楽しかった。オートブロックもクレムヘイストもまきつけたスリングとロープの摩擦でブレーキがかかる仕組み。これで本当に安全なのかと疑問に思ったが、体重を預けると意外にも大丈夫だった。やはり、命の危険を伴うクライミングで使われている技術や道具はすごいのだと実感した。

この日はきっとトラバースがメインなのだと思っていたら懸垂下降をするとのことで、エイト環の出番が、しかも練習とは言え、結構高い。高所恐怖症でなくても怖ろしいなと思っていたら、皆次々と降りていくものだから正直面食らった。懸垂下降をしてみて感

じたのは、エイト環にロープを通す際にセルフビレイをとることが何よりも重要であること。セルフビレイをとっていれば崖っぷちに立っていてもそれほど恐ろしいとは思わなかった。

クライミングと一言で言っても、安全に岩を登るためには非常に多くの知識と技術が必要とされる。練習に来る前からわかっていたことであるけれど、実際にやってみると、ますます奥が深く面白いものだということを実感した最高の一日だった。

岳連短信**特殊切手「日本山岳シリーズ第 4 集」販売****広島・三倉岳 (写真撮影 京オ昭氏)**

日本郵政は、日本各地の様々な名山を題材としたシリーズの第 4 弾として特殊切手「日本山岳シリーズ第 4 集」を 5 月 1 日発行した。82 円切手 10 枚で、秋田駒ヶ岳、伊予ヶ岳、奥穂高岳、富士山、六甲山、剣岳、雲仙岳、大萌山、玉辻山に広島三倉岳の 10 山が収録

されている。三倉岳の写真撮影は京オ昭氏。発行枚数 1,200 万枚 (120 万シート)。全国の郵便局等で販売している。



写真は記念切符の一部 左下が三倉岳

クライミングスクールに参加して**山のこわさと自分の弱さ学ぶ****個人会員 渡辺 昌彦**

「人を助けられる人になりたい」これが、私の学生の頃の夢だった。学生時代は、消防官になることをめざし、勉強と運動に励んだ。22 歳の春に二つの自治体の消防官採用試験に落ち、夢は破れたが、幸運にも小

学校教員採用試験に受かり、今は子供たちの前に立っている。

私がこの「クライミングスクール」に参加させていただくきっかけになったのは二つある。一つはNHKの番組「プロフェッショナル—仕事の流儀—」で放送された富山県警山岳警備隊の方の活動だ。「山はこわい。山に対する畏敬の念」山から学び、山に生きる人から学ぶその姿勢に感動した。子供を指導する立場にある自分自身もそのようにありたいと思った。子供から学び、子供を守れるようにあらゆる環境を整えたり、技術を身につけたりしたいと思った。二つ目は一世を風靡した「岳」という漫画だ。これまた、主人公の「三歩」という山男の生き様が素晴らしい。超人的で身近に感じられなかったが、そうなりたいと思った。「三歩」のように、山と人を愛し、豊かな心と強いからだをもって、周りの人を支えたり、助けたり、教えたりできる人になりたいと思った。「クライミングスクール」に入り、広島県山岳連盟の指導部の方々から学び、少しでも山のことを知り、よりよい生き方、よりよい教師になりたいと「クライミングスクール」に参加した。昨年度からの参加で2年目になる。

山をこよなく愛している指導者たち

「クライミングスクール」では、様々な方がご指導くださる。還暦を迎えられている方、平日はご勤務をされている方、山岳連盟の事務局をされている方、もちろん男性、女性という別もある。しかし、指導してくださる皆さんに共通しているのが、山をこよなく愛していることと、山のこわさを教えてくださるということだ。それ故に、年齢や男女の区別なく指導者の皆さんは、本当に心身ともにタフであるなど感じた。昨年度、第2回の「クライミングスクール」では、呉市天応烏帽子山の南側にある岩のとり付きまで歩いただけでも私は、疲れ切っていた。緊張のせいもあったかもしれないが、終わったあとにはとにかくヘトヘトだった。指導部の方々は、私たち受講生のために、ガイドラインを張ったり、トプロープを設定したり、先回りやギアの回収のために私たちの何倍も速く、多く動いていらっしゃるのにどの方も平然として

おられた。私は、愕然としたというか、山男・山女のすごさを感じずにはいられなかった。

今年度、第1回の「クライミングスクール」では、改めて山のこわさと自分の弱さを学んだ。第1回4月6日(日)は、一時的にみぞれが降り、4月としては最悪とも言えるコンディションだった。それにもかかわらず、私は、前日、久しぶりに会えた教え子や居酒屋で出合った教え子のお爺様、お婆様と意気投合し、深夜まで飲食をしてしまっていた。(ここで教え子や老夫婦との出会いを言い訳にしたい)その上、前日に装備の確認・準備もせず、天気予報も見ずに家を飛び出す始末だった。「クライミングスクール」で私に起こったことは、言わずもがなである。

とにかく、今年度1年間、「クライミングスクール」に参加して、指導部の方々からクライミングの技術だけでなく、山に向かう心の持ち様を学び、自分を成長させたいと考えている。そして、その職責を果たすために役立てたい。このような機会をつくってくださった「クライミングスクール」指導者の広島県山岳連盟指導部の方々はじめ、広島県山岳連盟の皆様、参加者の皆様に感謝をいたします。本当にありがとうございます。また、ご指導宜しくをお願いします。

フォト俳句 ⑨

水芭蕉何の好みで群れ離れ

俳句・写真 江種幸男



クライミングスクールに参加して**三点確保で登ること****天応烏帽子岩・5月11日(日)****御崎 勝**

本日は、好天に恵まれ気持ちの良いスクールとなりました。私は、昨年度に続き2回目の参加となります。

まずはロープを使い基本の結び、エイトノットとクロブヒッチの2点を再確認しました。特にクロブヒッチについては、カラビナのゲートの向きやロープの掛け方、また右手ですか左手ですかでまったく違ってくるので、素早く結ぶのにかなりの練習が必要です。(この時は、自分では理解しているつもりでしたが・・・反省。)

次に、確保支点構築とセカンドの確保の方法の確認をしました。支点構築ではカラビナのゲートの向き、確保の方法では支点確保とハーネスのループでの確保とで体にかかる衝撃の違いや、ATCガイドを使用する方法と安全環付きカラビナでムンターヒッチによる確保を確認しました。この辺は、システムが何となく頭に入っているのでよく理解することが出来ました。また、ハーネスのギアラックへの有効なギアの掛け方等を確認しました。

少し休憩し、銀座尾根を3Pほどマルチピッチしてドンガメ岩まで行く予定で出発しました。ここでは、登攀時に三点確保で丁寧に登る事や支点でのロープの掛け替え、そして終了点でセルフ・確保支点構築・ロープアップ・支点確保を自分なりに素早く行えたつもりです。(環付きは、環を締めるのをよく忘れるのでその辺を十分意識して作業しました。私の場合、特にメインロープでセルフを取る時に環付きを使用した場合忘れやすい。)

時間の都合上等々で、3P目のドンガメまではいけませんでした。2P目の終了点付近の銀座尾根東面よりラッペルして、なめら岩まで帰り昼食をとりました。(ラッペルは、いつどこでやっても気持ちの良いものです。)

昼食後は、なめら岩でトップロープでのクライミン

グを行いました。第2ポピュラー・第1ポピュラー・凹角・歯が痛い順にチャレンジしました。簡単な所ほど丁寧に登る事を特に意識しました。第2・第1ポピュラー・凹角となんとかクリアし、最後の歯が痛い核心部で少し雑に行き過ぎて、1度テンションがかかってしまいましたが、何とかワンテンでクリアできました。後ここでは、スタッフの方よりATCガイドを使用したビレイ時の手の送り方について習ったのですが、よく確認出来なかったので次回にもう一度確認しようと思います。

こうして第2回クライミングスクールを無事終える事が出来たのも、スタッフの皆様方の安全第一の意識と教えのおかげだと思います。

岳連短信**第22回比婆山スカイラン****役員説明会で挨拶する山田理事長 2014・5・17****第2給水(出雲峠)にて 2014・5・18**

書 評

広島登山史

古代信仰登山と近代広島登山界の歩み

瀬尾 幸雄著

広島修岳会名誉会長瀬尾幸雄氏が「広島登山史 古代信仰登山と近代広島登山界の歩み」(2014・4・14 発行、79 頁 自費出版)を出版した。同氏の 60 余年にわたる登山経験をもとに、古代信仰登山から近代登山、そして広島登山界の芽生えについて、その実体験に基づいて述べられている。

比婆山スカイラン、岳連 50 周年記念事業、ひろしま国体山岳競技、「ふるさとの山歩き」などの出版にともなう中高年登山ブームなどが多くの写真や資料と体験によって記載されている。

同氏は、広島岳連で、事務局長、理事長、指導委員長、副会長、顧問などの要職を歴任された。1930 年生まれ。(若干残部があるので、希望者は 2,000 円。瀬尾幸雄 TEL (082)922-1681)

岳連短信

1、京才昭会長、旭日双光章受章

2014 年春の叙勲で京才昭会長が、「旭日双光章」を叙勲された。選手として 1966 年の大分国体に出場して以来、監督や役員を含めて 30 回以上、国体に関わった。山岳競技の普及に努めてきた。県体育協会城卯理事だった 96 年のひろしま国体では、県チームが総合優勝した。2011 年県山岳連盟会長に就任、子供向け教室を開くなど愛好者拡大に力を尽くす。さらに世界大会にも選手を送りだしている。「次は世界で優勝できる人材を育てたい」受章おめでとうございます。

2、大山キャリアアップ・ボランティア募集

例年行っている「大山頂上汚泥キャリーダウン」に代わり、今年は、安心・安全な登山をしていたあくために木道を修繕するための栈木(さんぎ)を運ぶことにしました。

1、集合場所：大山寺博労座第 4 駐車場

2、日程概要：6 月 22 日(日) 7:00 受付開始(栈木受け取り *1 本 400 g) 必ず当日朝受付をしてください。(※受付後は順次出発していただいて結構です)(※登山は皆さんのペースにおまかせします)→山頂にて栈木の引き渡し→第 4 駐車場をゴールとします。(参加記念証受領)(※その後は、自由解散とします)(16:30 最終回収)

注意事項 参加に当たっては、事前に申し込みが必要です。(住所、氏名、電話番号を下記までお知らせください) 募集期間：4 月 25 日(9:00) から 5 月 30 日(17:00) 先着 250 名 栈木を入れるビニール袋等をご持参ください。登山に適した服装や装備でお越しください。食事や飲料等は、各自でご用意ください。申し込み・問い合わせ先：鳥取県西部総合事務所 生活環境局生活安全課 電話 0859-31-9320 ホームページ <http://www.pref.tottori.ig.jp/daisen-carryup>

3. 6 月行事予定

5・30(金)～6・3(火) UAAA 総会(香港) 山田
6・1(日) 第 13 回ひろしま「山の日」県民の集い
6・11(水) 第 3 回運営会議
6・20～22(日) 第 49 回長崎国体・中国ブロック大会(島根・松江市ほか)
6・21(土)～22(日) 山岳レスキュー(無積雪期)研修会 三菱広島組合会館
6・25(水) 全員協議会
*詳細は「平成 26 年度広島県山岳連盟事業計画(案)」(5・24 定期総会決定)をごらんください。

4、広島山岳平和祭・日程表 11・22～11・26

広島山岳平和祭・日程表				
A. 団体参加／自然保護集会				
B. 日帰り(個人)				
C. UAAA／UIAAA 集会				
11月22日(土)	11月23日(日)	11月24日(月祝)	11月25日(火)	11月26日(水)
来日／来広 集合／受付	平和祈願祭 平和記念公園	各団体別 集会 終了後解散	UAAA・総会	UAAA 解散
合同集会	記念集会 中ホール	 弥山 宮島		
各団体別 懇親会	祝賀会	銀河クルーズ ディナー	さよなら ディナー	JMA

俳句 5 題

富澤哲郎 (岳連参与)

山講習緊張しました春の山

緑陰で山の講習汗だけで

秋夜長山の話で時が過ぎ

冬山の熱い指導で寒さなく

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載します。

題字デザイン 今村みずほ

編集 仲井 正美

中国新聞

2014・3・18 掲載→

私の学び

より高く困難な山に登りたい、いつも思っている。広島大山岳部で本格的な山登りを始めて以来、ヒマラヤ山系など6千メートルを超える山に挑んできた。

鋭く切り立ち、雪や氷に覆われた山肌。酸素は平地の半分以下と薄く、気温が氷点下20度を下回ることも少なくない。少しの判断ミスが命の危険につながる。遭難して死を意図したこともある。

広島桜が丘高(広島市東区、旧広島第一女子商高)の理科

教諭だった1998年、中国

峰、ボベータ峰(7439メートル)に挑戦した経験は忘れられない。標高7千メートルにある最終

頂への挑戦「戻る勇氣」も

広島登山研究所代表 松島 宏さん(61)



まつしま・ひろし 広島市西区出身。広島大水畜産(現生物生産)学部卒。大学時代に山岳部員として同大ネパールヒマラヤ学術調査隊に参加。卒業後、広島桜が丘高理科教諭を経て、2003～09年、広島県山岳連盟事務局。国内外の山々に挑み、10年に広島登山研究所を設立した。県山岳連盟理事。

ところで日没になった。引き返すべきだったが、諦めきれず登山隊の仲間3人と予定外のビバーク(緊急露営)を決めた。

しかし、翌日から吹雪で身動きが取れなくなった。猛烈な寒さで体温が奪われる。手袋を外すと指が真っ白。両手足とも凍傷になった。明日の朝は目覚めないかもしれない。ツェルト(簡易テント)の中で恐怖を募らせていた。

4日目に天候が回復し、5千メートルの地点まで下山。無線で救助を要請しヘリコプターで運び出された。山は逃げないのだから、引き返す勇氣を持たなければいけない、と強く学んだ。

この経験が転機となり、4年後に教師を辞めた。生死の境で踏みとどまり、好きな登

山一筋でいこうと決めた。50歳だった。

それからは2年に1回のペースで中国やネパールの未踏峰などにチャレンジしている。一方、代表を務める広島登山研究所で初心者向けの登山ツアーも開く。

無理のない登山計画の立て方や必要な装備、危険の予測方法などを、子どもや中高年の愛好家たちに伝える。自分で考えて動く心構えを身に付けてほしい。

年間2000日ほど山に登る。雪の尾根を登っていると雪崩が起きないか、ふと考えてしまう。いまでも山に入るたび怖いと感じる。それでも再び登るのは、壮大な山の中で自然の一部になれたような心地よさがあるからだ。(聞き手は鈴木直美)